

平成30年3月のダイヤ改正について

ダイヤ改正は何のためにやるの？

3月のダイヤ改正からおよそ1カ月が経過しましたが、皆さんの勤務実態はいかがですか？

福岡・北九州都市圏を中心に九州全域で、輸送量の実態にあわせた輸送力の見直し等を行うため、ダイヤ改正を実施する。また、**業務運営の効率化**を実施する。」

これが、今回のダイヤ改正の趣旨です。ちなみに前回までの趣旨は、列車の増発及び新製車両の投入等によるきめ細かな輸送施策を展開し、**お客さまの利便性の向上**に努めるとともに、輸送量の実態にあわせた輸送力の見直しを行う。」でした。

お気づきの方も多いと思いますが、今回のダイヤ改正の趣旨には「お客さまの利便性の向上」という文言が含まれていません。

みなさんは、ダイヤ改正による「業務運営の効率化」とは何を意味するのか考えたことがありますか？**会社と労働者、そしてお客さま、鉄道運営に対する視点はそれぞれ違うはず**です。会社はこれまでお客さま目線を強調してきましたが…。今回の改正によって最も効率性を感じているのは誰だと思えますか？みなさんも日頃こなしている業務において、何か問題点がないか、よく観察してみましょう。

まずは労働者の視点に立ちましょう

3月のダイヤ改正以降、以下のような問題点はありませんか？

- 職場の人員が足りないため、年休消化ができない。
- 出勤時間が早すぎて、前泊を余儀なくされる。
- 以前よりも残業が増えた。
- 列車の本数が減ったため、通勤が不便になった。
- 休憩時間が短くなって、食事をとれないことがある。
- 慢性的な要員不足により、無理な作業ダイヤが組まれている。
- 列車の本数が少なくなって、お客さまからご意見を頂いても、満足な回答ができない。

問題は放っておいても解決しません！

労働環境改善のための職場集会は、きちんと行われていますか？



きちんと組合を通して、問題解決に取り組みましょう。



若い力

第 92 号

2018年 4月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515